

授業評価アンケートをWeb回答に したことで得られたこと

名古屋学院大学 学術情報センター
課長補佐 牧野雅

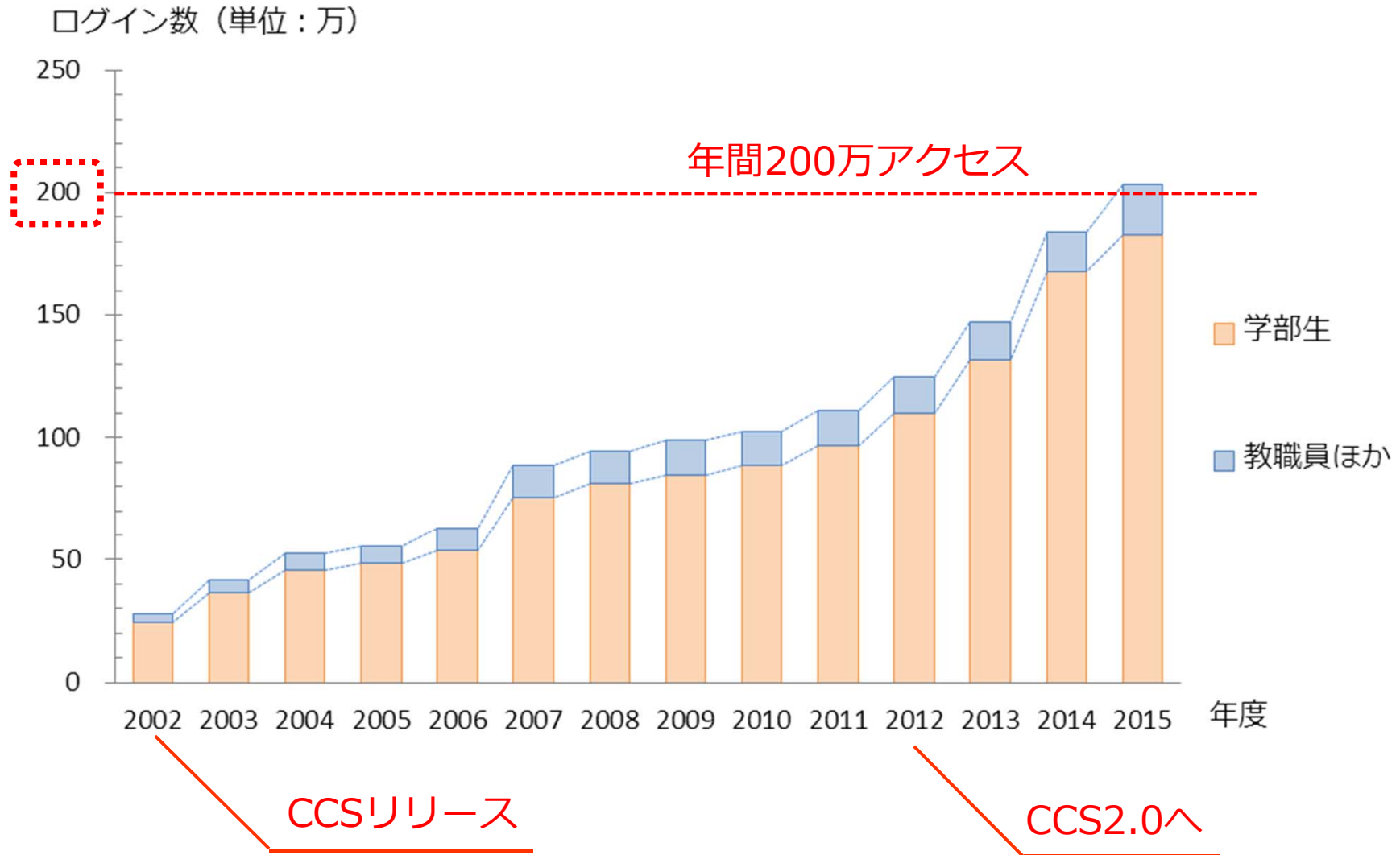
本日の発表メニュー

- 名古屋学院大学について
- 基盤となった統合ポータルシステム(CCS)
- 授業評価アンケートWeb化 経緯と目的
- 実施結果状況 実施科目数、回答率は？
- Web回答の結果参照画面（教員）
- Web実施結果の分析
- まとめ

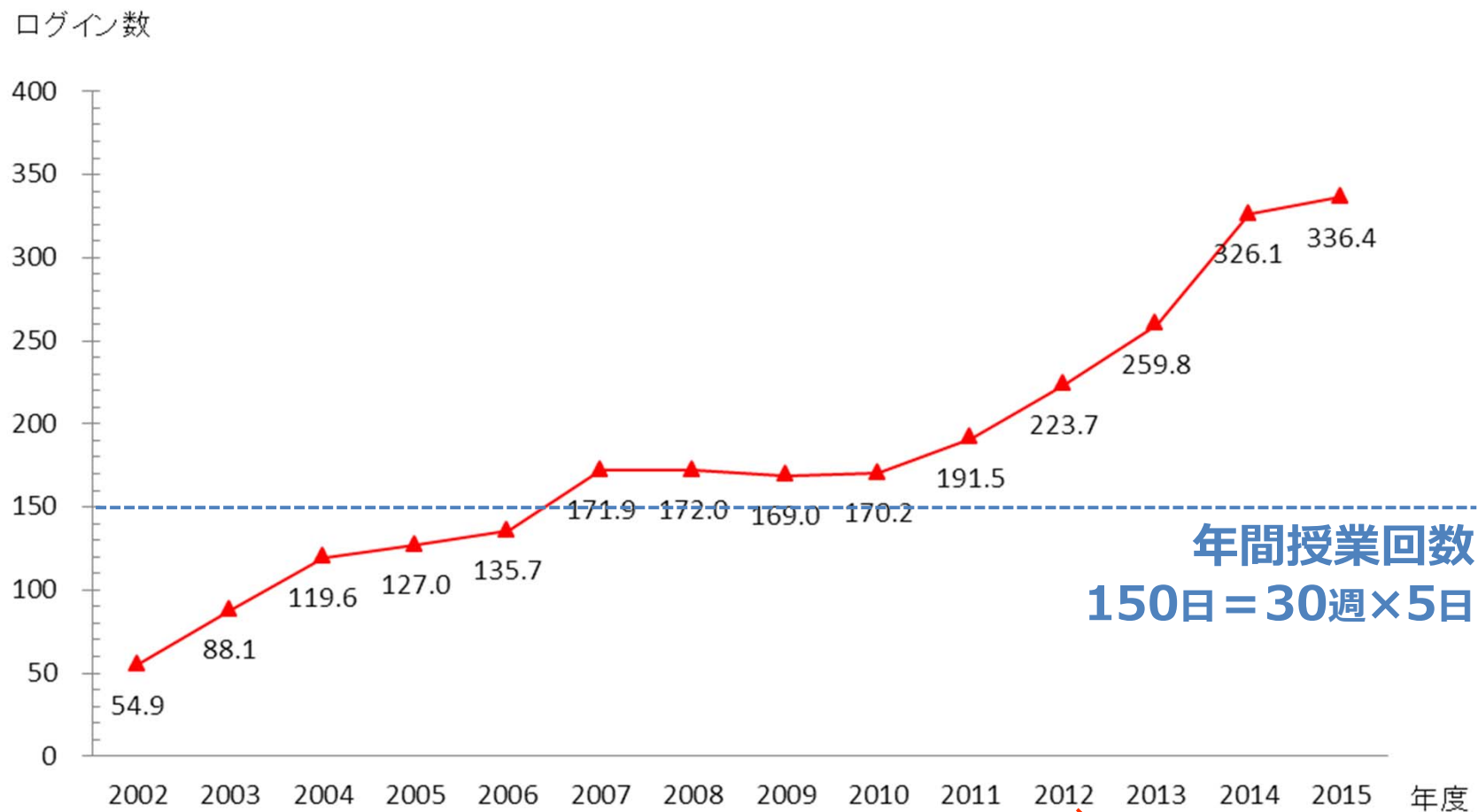
名古屋学院大学について

- 1964年 開学
- 1992年 商学部入学者にノートPC配付
- 1996年 全学部（経・商・外）ノートPC配付
- 2002年 Web統合システム（CCS）を**独自開発**
入試から、学籍、教務、LMS、就職まで
を網羅した全学部統一の統合ポータルシステム
- 2012年 Web統合システム（CCS）再構築
- 現在 8学部11学科、収容定員5,560名

基盤となったシステム CCSログイン総数の推移



学部生一人あたりの年間ログイン数



特色GP採択

スマホ元年

CCS利用状況のまとめ

- スマホの普及でログイン数が急増
- 授業日数で見ると、1日2回のログイン
- 学修支援ツールの活用：促進
 - ミニッツペーパー・レポート提出
 - 授業理解度調査・クリッカー
 - 自学自習と小テスト など

→ ICT/FD研修会

授業評価アンケート全面Web化まで

- 2014年度まで

紙のマークシートで実施

- 2015年度

春学期

一部の科目で限定的に試行

秋学期

実施教員を募り対象を広げる

- 2016年度 完全Web実施

システムの耐久性を様子見しながら拡大

Web化 長所と短所

- Web化の目的

回答と学生の属性を関連付ける→ I R

(学生はC C Sにログイン→非匿名)

実施、結果公開スケジュールの短縮

(紙のマークシートのスキャン廃止)

→早期フィードバック (授業改善)

- 懸念材料

回答率の低下、システムの耐久性

実施状況

開講科目：1,353科目

⑤在籍学生：5,989人

除外申請：204科目*

履修者10名以下、再履修、リレーなど

⑥実回答者数：4,743人

学生回答率：79.19%
= ⑥/⑤

①対象科目：1,147科目

③総履修者：54,170

②実施科目：1,107科目

④総回答：31,309*

実施率：96.51%
= ②/①

単純回答率：57.73%
= ④/③

クラス

学年

出席

GPA

分析へ

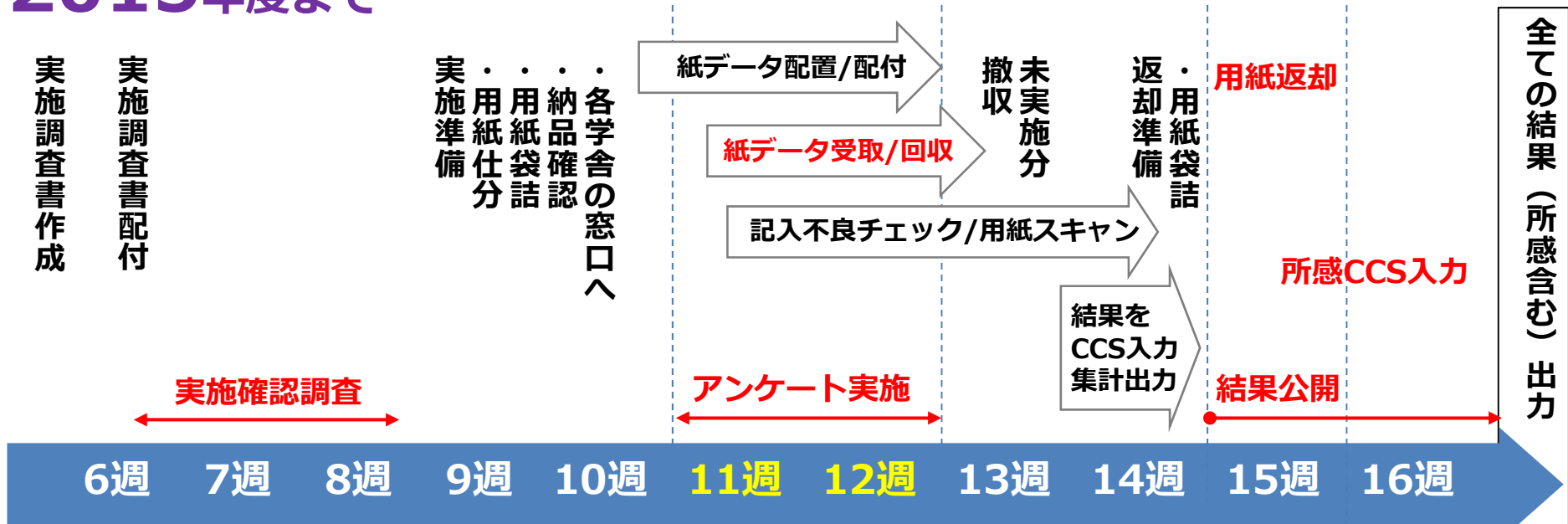
※参考 前回 実施科目：491科目 回答率 59%

* (開講数 - 申請数) と対象科目数が一致しない原因は担当者変更処理による

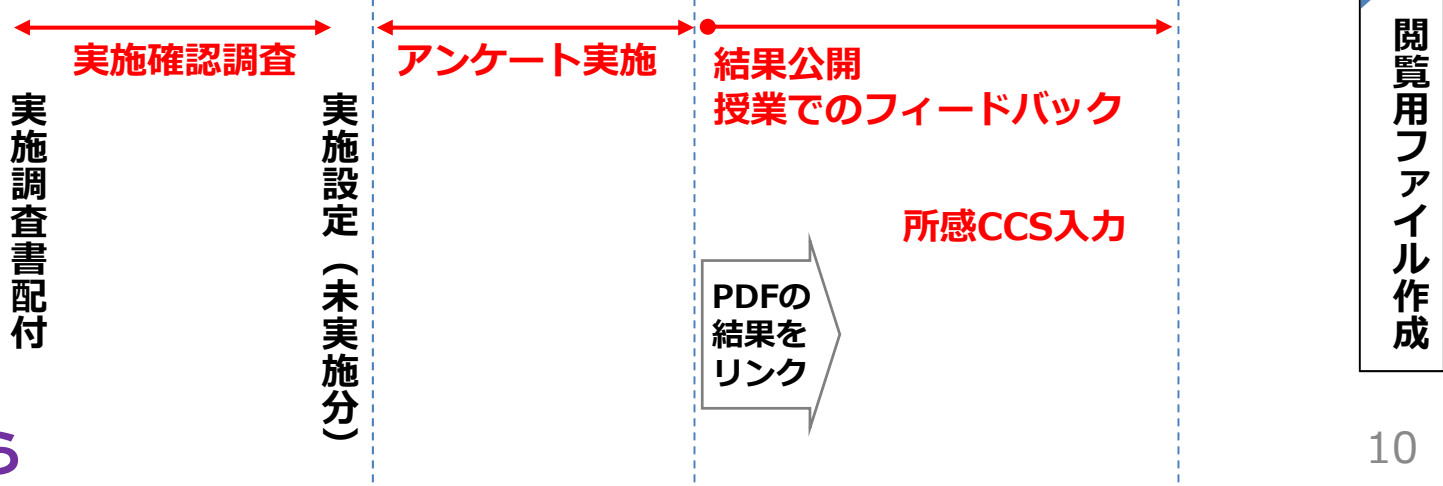
* 科目等履修生からの回答数：15

Web化によるフィードバックの迅速化

2015年度まで



2016年度から



授業評価アンケート結果参照画面（教員）

－学生の属性による回答の違い－

■ 授業アンケート 集計結果 2016年度春

[学修支援ページへ戻る](#)

2016年度春 ▼

[2016年度春 学生回答データ\(Excel分析用\)](#)

記述式が文字化けするときは『科目名』のリンクのほうから参照してください。

データダウンロード

クロス集計などの分析用

従来の結果表示PDF

レーダーチャートなど

曜日	時限	科目名	回答数/届修者	集計表	グラフ	記述式	所感入力
火	1限	統計学入門	55 / 87	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	2限	演習	0 / 8	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	4限	経済演習(3年)	16 / 18	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	4限	デジタル・プレゼンテーション	19 / 26	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	4限	デジタル・プレゼンテーション	23 / 29	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	4限	デジタル・プレゼンテーション	23 / 29	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	4限	デジタル・プレゼンテーション	24 / 29	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	5限	経済演習(4年)	14 / 19	集計表	グラフ	記述式	所感入力
木	5限	デジタル・プレゼンテーション	26 / 29	集計表	グラフ	記述式	所感入力

未実施科目

従来通り

回答集計の結果画面

CCS実施でリンク表示
3つの結果表示が可能

所感入力の画面

3項目入力：従来通り

新規開発画面

回答率表示

アンケート集計結果へ戻る

= 回答者 / 履修者

① 結果表示タブ

多面的に表示可能

曜日時限	履修者数	開講期	教室	履修者数	回答者数	回答率
火1	統計学入門	2016年春A	曙203	87	55	63.2%

選択式設問 | 記述式設問 | 所感

■ 選択式設問

全体平均を上回っている箇所は ○(5ポイント以上)、◎(10ポイント以上)が表示されます。

設問	選択肢	この授業	31~100人	出席率平均
学生 / 自己評価 この授業を履修するにあたり、私は十分な基礎知識や理解力があると思う。	1) そう思わない	12.7%	9.2%	全体 2.89
	2) ややそう思わない	21.8%	14.6%	90%~100% 3.25
	3) どちらともいえない	16.3%	16.3%	80%~100% 3.14
	4) ややそう思う	16.3%	16.3%	70%~100% 2.95
	5) そう思う	33.9%	33.9%	50%~100% 2.87
	無回答	0.0%	0.0%	0%~50% 3.33
学生 / 授業態度 私はこの授業において、「授業中の基本ルール」を守った。	1) そう思わない	0.0%	0.0%	全体 3.84
	2) ややそう思わない	0.0%	0.0%	90%~100% 4.15
	3) どちらとも言えない	0.0%	0.0%	80%~100% 4.00
	4) ややそう思う	23.6%	25.6%	70%~100% 3.95
	5) そう思う	38.2%	58.1%	50%~100% 3.87
	無回答	0.0%	0.5%	0%~50% 3.33
学生 / 出欠席 私はこの授業に8割以上出席し、遅刻は3回以下だった。	1) そう思わない	5.5%	3.3%	全体 3.59
	2) ややそう思わない	14.5%	3.1%	90%~100% 4.32
	3) どちらとも言えない	25.5%	8.5%	80%~100% 3.94
	4) ややそう思う	21.8% ○	11.9%	70%~100% 3.84
	5) そう思う	30.9%	72.8%	50%~100% 3.69
	無回答	1.8%	0.4%	0%~50% 2.00

クラスサイズ

4段階で比較可能

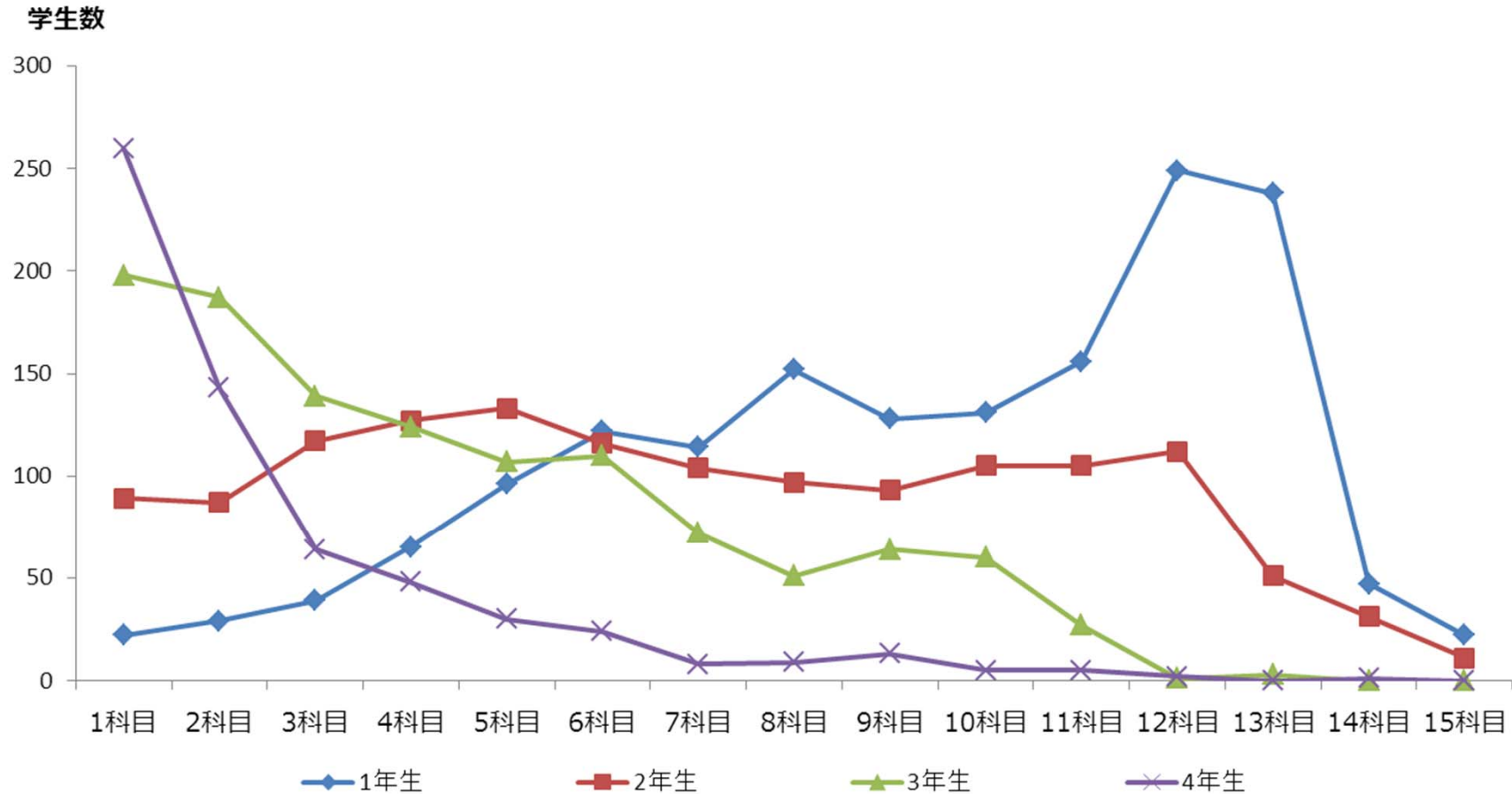
属性で結果表示

学年・GPA・出席率

Web実施結果の分析

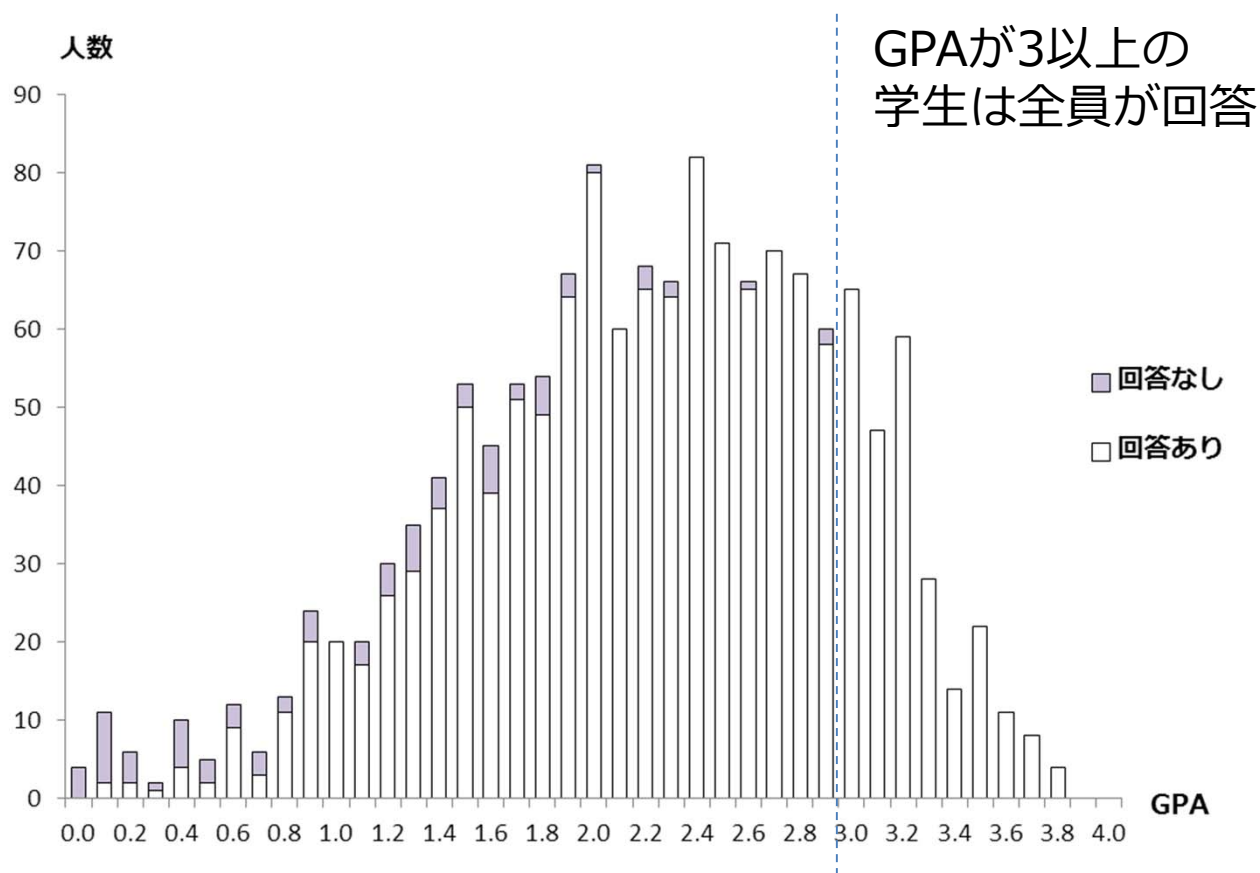
- CCSでの授業評価アンケート実施状況
 - クラスごとの回答状況・分布
 - 学生の回答状況のまとめ
 - 多様化するクラスに対応
- 学年別、GPA、出席でのデータ解析
 - 回答有無とGPA：学年別
 - 回答科目数とGPA：学年別

学生一人あたりの回答科目数：学年別



	1年生	2年生	3年生	4年生以上
平均回答科目数	9.27科目	6.99科目	4.48科目	2.63科目

2年生 GPA分布：回答別

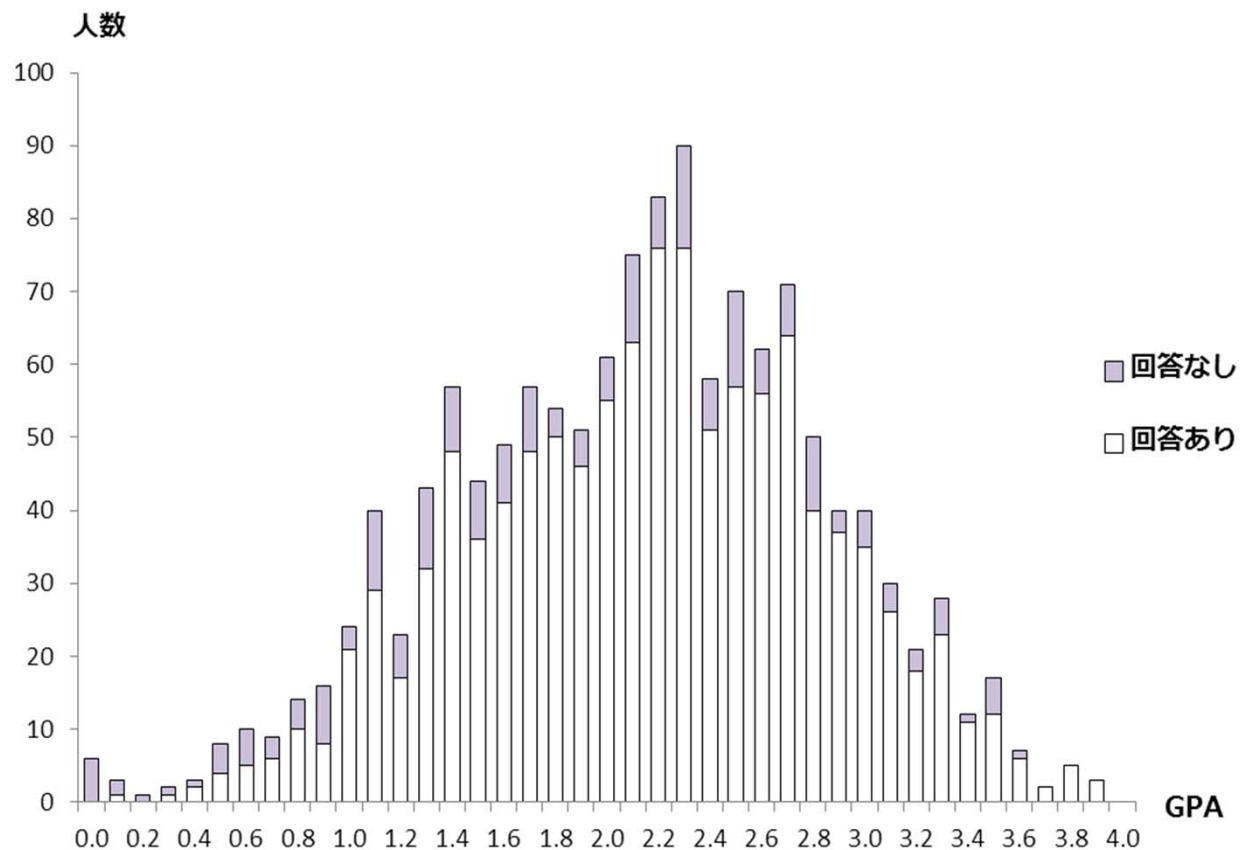


2年生で回答していない学生はGPAが低い層に多い。
授業に出席していない可能性が高く、離籍予備軍と見なすこともできる。

3年生 GPA分布：回答別

GPA

学年

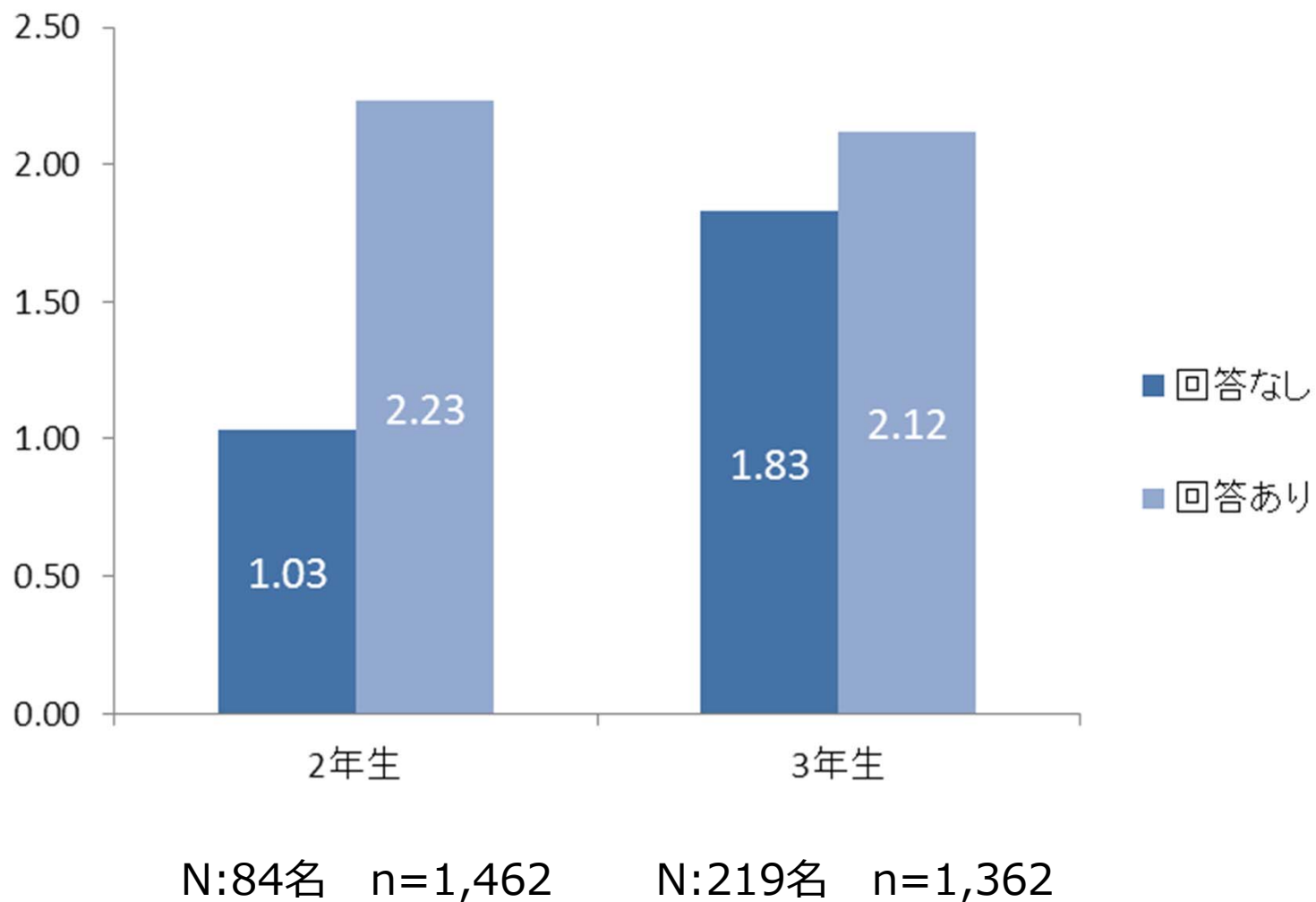


2年生と比較すると回答していない学生はいたるところで見られる。

回答の有無とGPA平均

GPA

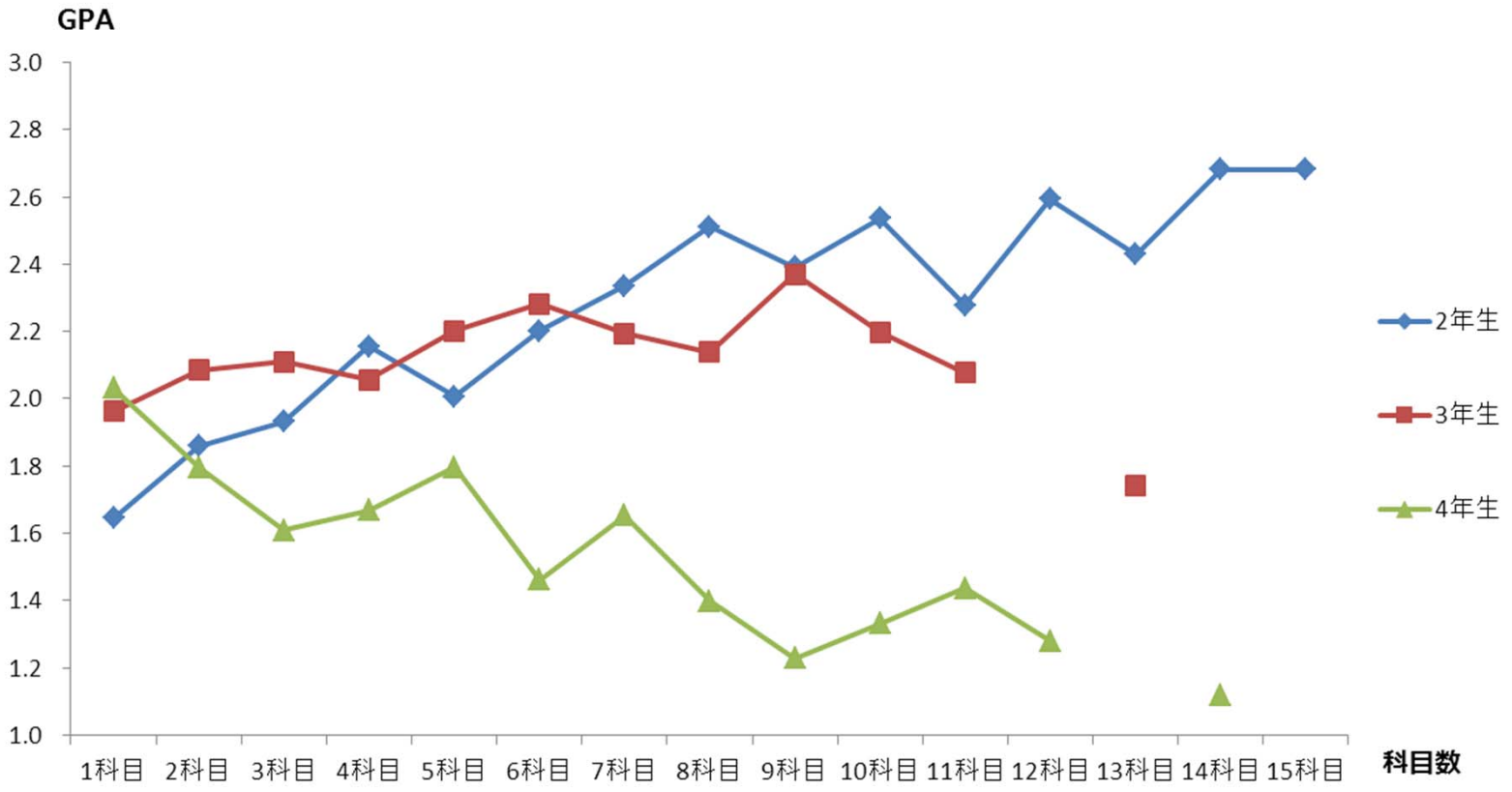
学年



GPA

学年

回答科目数ごとのGPA平均（学年別）



	1年生	2年生	3年生	4年生以上
回答数とGPAの相関係数	—	35.6%	11.7%	-27.9%

まとめ

- なぜ全面Web化を実現できたか？
本学には環境が整っていた
ノートPC（全員配布） + NW環境 + スマートフォン + CCS
- Web化がもたらしたこと
 - ◎ 作業負担とスケジュールの大幅な短縮
 - ◎ 学生の属性別に結果参照可能 → 教学IRの対象
- 今後の課題
回答率の維持（初回以降の低下を危惧）

ご清聴ありがとうございました